



# 令和6年度 府中市立府中第八中学校 学校経営計画

令和 6 年 4 月 1 日  
府中市立府中第八中学校  
校長 高 汐 康 浩

## 『学校教育目標』と『目指す生徒像』『目指す学校像』『目指す教師像』

『学校教育目標』（※ 令和6年度に改訂…下段「府中市立府中第八中学校教育目標改訂スキーム」参照）

すすんで学び、丈夫なからだで、みんな仲よく

### 『目指す生徒像』

- ①自他を大切にし、心豊かでたくましく生き抜く生徒【持続可能な社会づくりに向け、自らを高め、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力（ダイバーシティ・インクルージョン）】（②③）
- ②自主自立の精神を強くもつ生徒【自己実現】（①）【実践力】（③）
- ③礼儀（あいさつとことば）正しく思いやりのある生徒【リーダーシップやチームワーク、感性、優しさなどの人間性】（②）

### 『目指す学校像』

- ①生徒も教職員も「生命の尊さ」を深く理解し、安全で安心して生活できる学校
- ②生徒も教職員も「学ぶ喜び」を享受できる学校
- ③生徒も教職員も将来の夢や目標の実現に向けて生き生きと活動できる学校
- ④伝統と創造を重んじ、生徒・保護者・地域・教職員が共に支え合う学校

### 『目指す教師像』

- ①人権尊重を第一に生徒一人一人の良さを発見する眼、受けとめる心、語り合える言葉を大切にする教師
- ②専門性、指導力を磨き合い、組織としての対応力を高め合う教師集団

## はぐくむべき資質・能力 キーワード『発見すること』『対話すること』『決定すること』『表現すること』

社会生活における課題や問題を自ら発見し（①）、他者と協働（対話と表現）して解決しようとする態度（②）や新たな考えを創造し決めたことを実行しようとする力（③）（数字は目指す生徒像との関係を表す）

## 教育ビジョンと市教育委員会のキーワード「気づく」「つながる」「たかめる」との関連

《各教科等教育指導ビジョン》…【下段】参照

《「気づく」「つながる」「たかめる」》

◇「気づく」  
【コンピテンシー】  
生徒も教職員も自らのコンピテンシーに気づく。  
【働く見方・考え方】  
知識と技能の習得により鍛えられた「見方・考え方」がさまざまな活動で確かに働くことに気づく。  
（例 防災（危機）の場面、学校行事の場面）

◇「つながる」  
【シナジー発揮】  
協働力を高めるために、府中版コミュニティ・スクールの機能を発揮させ、保護者を含めた地域と学校とが双方向でつながる。（例 カリキュラム・マネジメント、地域行事）  
【連携から関係へ】  
「新・府中八中学区スタンダード」をダイナミックに運用するために、小・中が「関係を基本」にしたつながりを構築する。

◇「たかめる」  
【レジリエンス獲得】  
自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を力強く乗り越え、人生を切り拓いていくことができるレジリエンスをたかめる。  
【ダイバーシティ・インクルージョン実現】  
他者への共感や思いやりをもち、多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与できる資質や力をたかめる。  
【豊かな感性、創造力と表現力の向上】  
読書等読み物を読む活動を重点的に推進し、思考を豊かにすることで感性、創造力、表現力をたかめる。

## 本校の現状と教育活動実践課題

- （学習面）
  - ・全国調査における授業や学習におけるPC、タブレットの活用に関する項目では、部分的に都の平均を上回った。「主体的・対話的」、「思考力・判断力・表現力」に関する項目では都の平均を大きく上回った。
  - ・学習や生活に目標をもって取り組んでいる生徒の割合…9 2 %
  - ・防災に関する学習に意欲的に取り組んでいる生徒の割合…9 4 %
  - ・道徳の授業にしっかりと取り組んでいる生徒の割合…9 1 %
- （生活面）
  - ・学級の活動、学校行事に進んで取り組んでいる生徒の割合…9 7 %
  - ・交通ルール、社会のルール、学校生活の決まりを守っている生徒の割合…6 9 %
  - ・友達などに思いやりの気持ちをもって接している生徒の割合…9 3 %

課題・・・デジタル技術をフル活用した判断力、表現力を支える「見方・考え方」が働くより質の高い授業（教育活動）の実現

課題解決に向けた重点・・・「個別最適化の実現」「デジタル技術活用能力の向上」

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標等
健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命尊重の精神の育成を基盤とした生徒の自己実現力（自己指導能力）を高める生徒指導の実践</li> <li>・高い人権感覚、豊かな心を培う教育活動の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の生徒の行動特性やコンピテンシーなどあらゆる多くの情報を基礎にした教育活動、生徒指導の実現</li> <li>・学校を主体とし、家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力を密にした戦略的教育活動、生徒指導の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員向け生徒指導資料の定期的及び校内外の発生事案に応じた発行と資料を活用した研修の実施</li> <li>・ふれあい月間（いじめ防止等取組強化）の取組の充実と徹底したいじめ根絶の働きかけ（6月・11月）</li> <li>・生徒指導の明確な方針設定と多角的コンセンサスの実施と保護者、関係機関、学校の協働戦略（スクールカンセラー、公的機関等）</li> <li>・地域の小学校、特別支援学校、高等学校と連携した連続的取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員による整備整美活動、教室巡回（毎日）</li> <li>・いじめ防止アンケート（学期1回）</li> <li>・学校を起因とする解決困難な特別指導件数0件の達成</li> <li>・教職員向け生徒指導資料の配布と事例研究及び指導（月2回）</li> <li>・教育活動アンケート肯定的回答90%以上</li> </ul>
特別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別最適化と共生社会を目指すダイバーシティ・インクルージョンの実現</li> <li>・障害に対する教職員の専門性を高め、生徒の可能性を最大限に伸ばす教育活動の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の生徒の教育的ニーズを把握し、多様な学びの場と指導、支援（ユニバーサルデザイン等）の充実を行う。</li> <li>・障害の有無に関わらない交流、共同学習の場の設定と教育活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究のテーマ及び小中連携事業の共通テーマとしての設定</li> <li>・サポートルームの積極的、効果的運用</li> <li>・複数の特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の実施と切れ目のない支援体制継続</li> <li>・授業での共同学習、学校行事での交流等の実施</li> <li>・訪問臨床心理士の活用、医師等専門家の間接的活用</li> <li>・学校と家庭の定期的面談の継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育校内委員会（週1回）、不登校対策校内委員会（随時）の実施</li> <li>・校内研究主題の実現状況「効果的なアセスメントと個別最適な支援」</li> <li>・ダイバーシティ・インクルージョンに関する研修の実施（学期1回）</li> <li>・継続支援の必要なケースに対応した面談の実施（月1回）</li> <li>・教育活動アンケート肯定的回答80%以上</li> </ul>
健康・安全・体力づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣を改善・定着させ、運動・スポーツに親しむ元気な生徒を育成する取組の実践</li> <li>・主体的な安全文化の啓発と地域の安全文化の構築に貢献できる生徒を育てる安全教育の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談等を活用した個に応じた健康教育を推進する。</li> <li>・部活動の取組を通したスポーツや芸術、文化に親しむ取組を推進する。</li> <li>・生徒会（生活委員会、保健委員会等）、部活動リーダーを中心に健康・安全への意識向上を実現する取組を推進する。</li> <li>・地域等と連携した安全、防災に対する取組を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談等を活用した個別の日常的指導の実施</li> <li>・保護者会等を活用した取組の実施</li> <li>・部活動では、スポーツや文化に親しむ心身ともに健康な生徒の育成、体力向上、豊かな感性と知性をテーマとした取組を実施</li> <li>・東京女子体育大学等と連携したスポーツに親しむ取組の実施</li> <li>・生徒保健安全リーダー（保健委員会）や生徒会等による健康・安全に関する呼びかけ等の継続実施</li> <li>・ファーストエイド及び熱中症対応に関する意図的指導の実施</li> <li>・自助の精神を大切にしながら、共助の精神を高める指導の実施</li> <li>・地域コーディネーター、地域、連携校（北区立堀船小学校）、関係機関、学識経験者、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課、日本スポーツ振興センター等と連携した取組の実施</li> <li>・地域の小学校、特別支援学校、高等学校と連携した取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の記述（日記等）（毎日）</li> <li>・新体力テストの記録全国平均値以上（特に投げる力）</li> <li>・部活動加入率の向上（90%以上）</li> <li>・教育活動アンケート肯定的回答85%以上</li> </ul>
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、関係機関等の人的、物的資源等外部資源を積極的に活用した学校主体の教育活動、研究活動、マネジメントの実践</li> <li>・ふるさと府中を愛する心を醸成し持ち続ける取組の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクール・コミュニティ事業を推進し、重点的にはぐくむ8項目の実現に向けた取組を行う。</li> <li>・地域の人材・環境・施設等の有効活用を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会、スクール・コミュニティ協議会、地域懇談会、学校保健委員会の定期的な開催</li> <li>・コーディネーターによる活動の推進（ボランティア活動運営等）</li> <li>・地域人材を活用したふるさと府中の伝統文化や地域の素晴らしさを学習する取組の推進</li> <li>・府中市青少年対策第八地区委員会との連携</li> <li>・学校だよりを活用した教育活動情報の発信、協力依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動アンケート（年2回）</li> <li>・学校だより（「ふるさと府中」特設コーナー等）による発信（月2回）</li> <li>・スクール・コミュニティ協議会（定例）</li> <li>・地域懇談会（年1回）</li> <li>・青少年への参加（定例）</li> </ul>
教育特色ある活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピック教育の成果の活用と共生・共助社会と持続可能な社会の実現に向けた「未来へつなぐ府中2020レガシー」の取組の実践</li> <li>・多様な表現活動をとおして、芸術文化のよさを発信できる生徒を育てる芸術教育の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと府中で活躍する人材、ボランティアマインド、和太鼓、豊かな国際感覚を重点的に育成する取組を推進する。</li> <li>・合唱指導の充実を図り、生徒の感性を高める取組を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市制施行70周年に係る地域の伝統・文化の学習と地域への愛着を高める学習の継続実施</li> <li>・「郷土府中に根ざした道徳資料集」の多面的活用による郷土の伝統と文化の尊重と郷土を愛する態度の重点的育成</li> <li>・グローバル教育の展開</li> <li>・学校行事等の歌唱指導の充実</li> <li>・合唱コンクールの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域愛、家族愛をテーマとした講演会等の実施（年1回）</li> <li>・道徳教育推進教師の活用</li> <li>・教育活動アンケート肯定的回答80%以上</li> <li>・歌唱指導の充実（学校行事等）</li> <li>・教育活動アンケート肯定的回答80%以上</li> </ul>
働き方における学校における改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の心身の健康の増進</li> <li>・教職員としての誇りやりがいをもって職務に専念できる環境の整備</li> <li>・学校の教育活動の質の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副校長等校務改善支援事業の活用及び効果的実践</li> <li>・学校経営支援事業による専門スタッフの活用及び効果的実践</li> <li>・地域コーディネーターの活用と効果的実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の在任時間の短縮と効率的な職務遂行の実施</li> <li>・教職員の自己管理能力の向上</li> <li>・効率化を目指す校務分掌の検討</li> <li>・ICTの効果的活用</li> <li>・地域コーディネーターがより積極的に経営に参画できる体制整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の過当たりの在任時間の縮小（60時間未満）</li> <li>・学校行事、学習支援事業、各種検定における地域コーディネーターのコーディネーション実施</li> </ul>
服務規律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服務規律の徹底</li> <li>・服務の厳正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非遵行為による服務事故0の継続</li> <li>・教育公務員としての不適切な言動0の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特設する服務事故防止研修の実施（教育委員会）</li> <li>・特設研修と関連させた定期的、日常的な服務事故防止研修の実施（校内）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の自己評価該当項目肯定的回答100%</li> <li>・職員朝会等での校長作成資料を活用した特設研修を実施（学期始め、学期末）</li> <li>・職員朝会等を活用した日常的研修の実施（特設研修後1週間）</li> <li>・市内ヒヤリハット事案を活用した研修の実施（事案発生後すぐに）</li> <li>・教職員向け校長通信（「知っておくと便利」）を4月は5回、以降月2回以上発行し非遵行為に対する意識を高めるための研修実施</li> </ul>

※キーワードとしたい文言に下線を引きました。

# 府中市立府中第八中学校教育目標改訂スキーム

令和5年12月19日  
府中市立府中第八中学校  
校長

## 現在の教育目標

すすんで学び  
丈夫なからだで  
みんな仲よく

- ★根拠法令「教育基本法」
- 自ら進んで学習に取り組む意欲を高める(第六条)
- 健やかな身体を養う(第二条)
- 自他の敬愛と協力(第二条)
- …当時の市議会議員の言葉

## なぜ教育目標を改訂するのか？

### 「丈夫なからだで」について

学校や社会では、ダイバーシティ・インクルージョンが推進されており、障害のある人に対する理解を深めるための基盤づくりが行われている。そして、障害のある人と障害のない人が、お互いに、障害の有無にとらわれることなく、支え合いながら社会で共に暮らしていくことが日常となるようにさまざまな取組が進められている。

「丈夫なからだ」が教育目標の文言となっている例は多くあるが、教育目標として適切であるか考えたい。障害者基本法では先に述べた共生社会の実現と障害及び障害者に対する国民の関心と理解を一層深めることが目的とされている。障害者の中には、病状が進行中であり、どのように努力しても丈夫な身体になれない人がいる。

共生社会をキーワードに「丈夫なからだで」について深く考え新しい目標への改訂作業を進めたい。

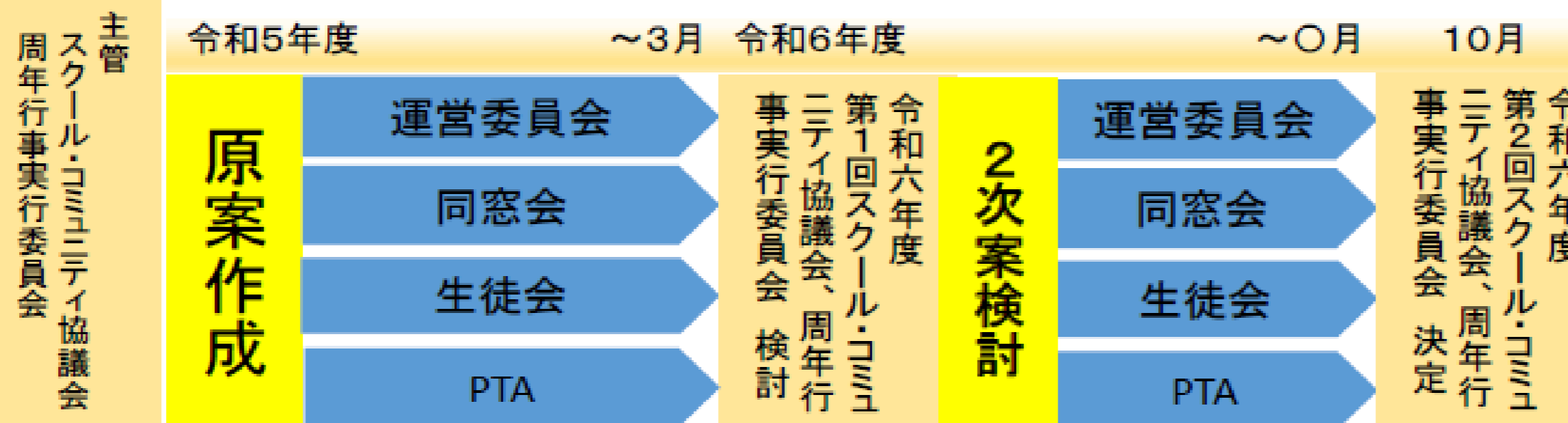
### 「みんな仲よく」について

「仲よく」の意味は、単になかがよいに加えて『仲睦まじい』関係であることである。確かに、子どもたち同士や子どもと大人が仲がよければそれはそれでよいのだが、学校の教育目標に掲げるだけの重要なことだろうか。多くの個性がぶつかり合う中で新たな価値観に気付いたり、価値観が一致しない中で新たな創造が生まれたりすることがある。

学校の教育目標に「みんな仲よく」を掲げれば、これを達成するための努力が必要になる。全生徒や全教職員、全教職員と全生徒が仲睦まじい関係をつくることをどのようにイメージできるだろうか。とても難しい。

大事なことは、仲のよし悪しではなく、一人一人が人間同士のかかわりの中で社会の目標や個人の目標の達成のために取り組むことではないだろうか。ときには、悩んだり苦しんだりぶつかりあったりすることも大切なことではないか。これらのことを踏まえ「みんな仲よく」について深く考え新しい目標への改訂作業を進めたい。

## 教育目標改訂に向けての工程



## 教育目標設定の頃の時代と背景

昭和49年戦後初のマイナス経済成長だった。過激派による連続企業爆破が起こって、世間を震撼させた。中学校では、校内暴力が徐々に問題になり、昭和50年代には、府中市内の学校でも校内暴力(対教師暴力)が大きな問題となった。この頃、中学校を舞台にしたテレビドラマ『3年B組金八先生』で、校内暴力が主題として扱われ、「腐ったミカン」という表現が話題となった。また、東京都内では中学生による関東番長連合「憂誠会」という組織が結成され、世間を驚かせた。

## 教育目標の策定

- ふれあいを大切にしたい  
⇒特に「先生と生徒が仲よく」を重点に
- 受験を目指した知識の詰め込みと学力偏重を改めたい
- 非行問題を改善させたい  
⇒社会性を養い心身ともに健全な生徒を育成したい

## 府中市立府中第八中学校各教科等教育指導ビジョン

学校教育目標と目指す生徒像

【学校教育目標】すすんで学び、丈夫なからだで、みんな仲よく

【目指す生徒像】

- ① 自他を大切にし、心豊かでたくましく生き抜く生徒
- ② 自主自立の精神を強くもつ生徒
- ③ 礼儀(あいさつとことば)正しく思いやりのある生徒

□■重点的に育みたい資質・能力■□

社会生活における課題や問題を自ら発見し②、他者と協働して解決しようとする態度①③や新たな考えを創造し実行しようとする力①② (番号は目指す生徒像との関係を表す)

教育課程の実施により育成しようとするさまざまな資質・能力

知識・技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性

	各教科	特別の教科 道徳	総合的な学習の時間	特別活動
「見方・考え方」を働かせ教科等横断的・総合的に育成	・基礎的・基本的な知識・技能の確実な育成 ・個に応じた指導の充実	・「見方・考え方」を働かせた、より質の高い深い学びにつながる授業の実践 ・言語活動の充実	・自他の生命の尊重、互いを思いやる心の育成 ・いじめ、差別、偏見等を許さない指導の推進	・自他の個性の理解と尊重と協力 ・多様性の理解 ・集団や自己の課題発見
	・ボランティアマインド、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚の育成 ・望ましい勤労観、職業観、主体的な進路選択能力を育成	・生徒の感性や知的な興味などに訴え、生徒が問題意識をもち、主体的に考え、議論する指導の推進	・自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する指導の推進	・学級活動、生徒会活動、学校行事における課題解決に向けての話し合い、合意形成、意思決定システムの推進
	・豊かな人間性や創造力、感性等を育むための活動の推進 ・家庭、学校、地域社会が協力して取り組む教育の推進	・自己の生き方を考えていくための資質や能力の育成 ・積極的に社会に参画し、よりよい社会を構築しようとする態度の育成	・目標達成までのプロセスを重視した指導 ・異年齢集団による各活動の活性化	

カリキュラム・マネジメントの確実な実施

授業の質的改善

